

表彰一覧

種 類	氏 名	所 属
静岡県危機管理監賞	遠藤 萌華	駿東伊豆消防本部
静岡県消防長会会長賞	高村 英明	掛川市消防本部
静岡県消防学校長賞	鈴木 優斗	静岡市消防局
	伊藤 大河	浜松市消防局
精励賞	大橋 隼都	富士市消防本部
	倉田 開	駿東伊豆消防本部
	牧沢 祥一	浜松市消防局
	榊原 香穂	駿東伊豆消防本部
努力賞	小倉 和喜	湖西市消防本部
功労賞	鈴木 貫太	浜松市消防局
	古橋 侑弥	浜松市消防局
	倉田 開	駿東伊豆消防本部
	山本 輝	志太広域事務組合志太消防本部



静岡県消防長会会長賞表彰



静岡県消防学校長賞表彰



精励賞表彰



努力賞表彰

※静岡県危機管理監賞受賞の遠藤萌華、精励賞受賞の榊原香穂は体調不良により当日欠席

修了生代表答辞

朝夕と過ごしやすい涼しさとなり、秋の訪れを感じる季節となりました。

本日は私達、初任科第93期修了生95名のために、このような盛大な式典を催して頂き誠にありがとうございます。

また、御多忙の中、御臨席下さいました御来賓の皆様には修了生一同心から感謝申し上げます。

顧みれば私達は令和4年4月6日の早朝、これからの寮生活に不安と期待を抱きながら大量の荷物持って各所属の車に乗り静岡県消防学校に向かいました。道中、和気藹々とした空気でしたが、山に囲まれた道を進み、満開の桜、高くそびえる訓練塔と整然と並ぶ校舎が見えた瞬間に一気に緊張感が高まりました。車を降り最初に待ち受けていたのは、入校受付、入寮受付という難題。制服の身だしなみ、動きの節度及び一体感、声の大きさなどを指摘され、想像しているよりも厳しく、何度も何度も汗をかきながらやり直し、何とか入寮することが出来ました。その日から今日までの半年間、校訓である「規律の厳守」「技術の錬磨」「体力・気力の錬成」そして初任科第93期のスローガンである「不撓不屈」のもと、消防人としてどんな困難にも負けず、諦めないで乗り越える体力・精神力、知識、技術を身に付け、仲間と協力することや気配り・目配り・心配りなど気付きが大切だと学びました。

仲間になる者達と初めて会ったその日から右も左も分からない共同生活が始まり、時間厳守の生活、規律の徹底に戸惑い、学生心得と統一事項を読み、学生間で意見を出し合いながらも何一つ満足に出来ず教官達に指導される日々が続く中、通常点検、座学、訓練礼式、消防活動訓練が始まりました。消防活動訓練では、初めて袖を通す防火衣の気密性の高さや重さに驚き、初日のホース抱え搬送訓練の疲労にこれからの半年間を想像して学生全員震え上がりました。時間に追われる生活に追い打ちをかけたのは毎朝実施される通常点検でした。皺一つ残すことは許されない制服のアイロンがけ、光沢があり埃一つない靴磨き、覚える事が次から次へと出てくることに恐怖を覚えました。そんな息つく暇もない4月が終わりに差し掛かった頃、非常呼集のけたたましい笛の音が寮内に響き渡り、驚きと焦りが同時に押し寄せました。出勤に迅速に対応するためには準備をしておくことが大切だと気付かされました。

～中略～

思えば入校して間もない頃は、時間の厳守、規律の徹底、体力錬成はとても辛く一日一日が長く感じ、修了日が待ち遠しいと思ってしまう程でした。その初任科生活も本日修了を迎えます。辛い事、苦しいことから何度も逃げ出したいくなる気持ちを抑え、挫折せずに乗り越えて来られたのは、苦楽を共にし、時には衝突してお互い真剣にぶつかり合いながらも励まし合う存在があったからです。私達の間にはいつしか固い絆が生まれ、互いに信頼関係を築く事ができ、かけがえのない仲間となりました。これから困難なことが幾度となく押し寄せようともこの消防学校で出会った95人全員で助け合い、これからも切磋琢磨していけるはずで。

私達95名が今、この日を迎える事が出来たのは、学校長をはじめとする教官・職員、私達をここまで育ててくれた家族のおかげです。また、この静岡県消防学校で出会い、消防士になるという同じ志を持った初任科第93期の仲間のおかげでもあります。今後所属に戻り消防士としてそれぞれの道を歩み始めますが、当たり前前のことは馬鹿にしないでちゃんとやり、初心を忘れずに不撓不屈の精神で国民の生命、身体及び財産を守れるように日々訓練を重ねていきます。

最後になりましたが、学校長をはじめ、教官・職員の皆様への御健勝と御多幸をお祈りすると共に、静岡県消防学校の更なる御発展を祈念しまして、答辞とさせていただきます。



令和4年9月28日

初任科（第93期）修了生代表

浜松市消防局 鈴木 貫太（総代）



初任科担当教官から

初任科（第93期）修了生たちへ

私は初任科（第93期）を担当するにあたり、教務課教官にいくつかのお願いをしました。ひとつは、厳しい指導を行ない、学生を精神的に強くしてもらいたいということ。知識、技術があっても緊張する場面で臆することがあったり、疲れてきた時に気持ちが切れてしまっただけでは最善の活動はできません。厳しく辛いことを乗り越えて培った精神力は、今後窮地に立たされた時にきっと役に立つでしょう。君たちの先輩方も同じように消防学校で厳しく辛い経験をしてきました。しかし、消防学校の思い出話で一番盛り上がるのは辛い経験談です。楽しい事よりも仲間と一緒に辛い思いをして乗り越えてきた事のほうが憶えているものです。先輩方にとって今となっては良い思い出を、同じように君たちにも作ってあげたいという思いで厳しく接してきました。

次に、気づき、行動に移せる人間を育ててもらいたいということ。やるべき事に気がついて手を出す。できなくて困っている仲間に手を差し伸べる。不安全行動をしている仲間を注意して正す。全てにおいて気づきが大切です。見て見ぬふりをしないで行動に移すことがとても大切です。気づくことができなければ何も変えることはできません。視野を広く、気づきを大切にしてください。

そして、怒るではなく叱る。愛情を持って指導してほしいということ。指導理由を明確にして必要性を理解させることが重要だと考えてきました。教官は君たちが可愛いからこそ、君たちの将来のことを考え、愛情を精一杯注いで厳しく指導してきました。修了式前日に君たちからいただいた色紙のメッセージの大半は「厳しく怖かったけど、愛情を感じました。」と書かれていたことをとても嬉しく思いました。半年もすれば後輩が入ってきます。仲間や後輩に注意、指導しなければいけない時があるでしょう。口うるさく嫌われることを避けるのではなく、仲間を想うのであれば、仲間のためにしっかりと注意できる人間になってください。そのためには、自分がお手本になるように、やるべき事をしっかりとやらなければいけないことを忘れないように。

所属に戻って覚えることがさらに増え、慌ただしく大変な毎日を過ごしていると思います。心が折れそうになることがあるかもしれません。そんな時は仲間と初任科第93期のスローガン「不撓不屈」を思い出してください。仲間も同じように頑張っています。

君たちが今でも先輩方に勝てるものは大きな声と気遣いです。新人らしく誰にも負けない大きな声を出し、目配り、気配り、心配りを忘れずに、仲間からも県民からも愛される立派な消防吏員になってください。再会した時に立派に成長した姿が見れることを期待しています。

初任科担当教官 埴淵茂樹
(浜松市消防局から派遣)



クラス担任から修了生へ修了証書授与



1組



2組



3組



初任科(第93期)修了おめでとう!!

川勝知事への表敬訪問



左から
 鈴木 優斗 (静岡市消防局)
 朝比奈 勇斗 (静岡市消防局)
 長田 瀬良 (御殿場市・小山町広域
 行政組合消防本部)
 高倉 健二 校長
 川勝 平太 知事
 鈴木 貫太 (浜松市消防局)
 小林 茉由 (富士宮市消防本部)
 高村 英明 (掛川市消防本部)

9月21日(水)初任科学生の代表6名が、訓練状況等の報告のために知事を表敬訪問しました。入室時に整列・敬礼し、きびきびとした態度で知事と歓談しました。消防士になろうとした理由やこれまでの訓練を踏まえての今後の決意を、一人一人知事へ話しました。知事からは、「災害になると消防が一番に現場にかけつけ、もっとも頼りになります。静岡県を誇る人達を誇りに思います。消防は男性の仕事との通念がありましたが、ここで話をきき、そうでないと思いました。人の命を救うのに男女の区別はありませんね。」との温かいお言葉をいただきました。学生にとって、本日知事に話した事、知事から一人一人にかけていただいた言葉は、きっと心に残り、今後の消防士としての生き方の肥やしになっていくものと思います。

初任科学生NHK出演

9月21日(水)初任科学生の増尾涼香学生(静岡市消防局)が、NHK静岡放送局『たっぷり静岡』の「キラ!しず」コーナーに出演しました。増尾学生は、消防士の志望動機について、「剣道を経験しており、その体力を活かし、人から感謝される仕事に就きたいという気持ちから」と説明。ただし、「教育訓練では、男子学生と同じメニューをこなすことが本当にきつく、時にリタイアすることもあり、精神的にも辛かったが途中から自分のペースでやりきることに気持ちを切り替えた。自分が頑張ることで消防士を目指す人が増えたら嬉しい」と今後の抱負を述べていました。



各務梓菜キャスター(左)と増尾涼香学生(右)

教官紹介【吉瀬教官】



吉瀬教官は、富士山南東消防本部から教官として派遣され2年目となります。普段はもの静かで慎重ですが、学生に対して、積極的に言い分をよくきき理解し、かみ砕いた言葉で指導しています。

～高倉校長と吉瀬教官との面談から～

校) 9月に修了した初任科教育訓練において、特に、注意していた点はありましたか。

吉) 職業訓練校として知識、技術の習得だけでなく、消防士としての姿勢や心構え、階級社会の規律といった消防の普遍性について理解してもらえるよう意識しました。また、初任科で得た学びや同期生とのつながりが今後の消防人生の糧になってくれればと思います。

校) 2年目となり、どのように感じていますか。

吉) 社会の変化を意識しながら変わるもの、変わらぬものを吟味し、他の教官と協力しながらよりよい学校教育が提供できればと感じています。また、一人の消防職員として、組織の多様性獲得の可能性について考えることができれば思います。

校) プライベートで何か趣味はお持ちですか。

吉) 自宅のごく小さな庭で野菜を育てています。収穫の多寡について近所のお年寄りからアドバイスされることもあり、良いコミュニケーションツールとなっています。また、花壇もあるのですが、花のレイアウトが難しくセンスのなさを痛感します。こちらは今後の課題です。

高倉校長から一言

吉瀬教官は、4月、初任科生の入校受付で学生に最初の厳しい洗礼を与えておられたのが印象深いのですが、その後は本来のお人柄なのか、初任科生や水難救助科学生とのやりとりで、張り上げた声を聞いたことはありません。とくとくと語る口調には重みと信頼を感じます。吉瀬教官は、大学卒業後、JICAの支援活動で社会主義のルーマニアで柔道指導をされたことが、ご本人の価値観に大きな影響を与えておられるようです。価値観等を強要されることへの違和感を覚えられ、消防学生への向き合い方も現状のままでいいのか、常に自問自答されているそうです。赴任期間はまだ1.5年あります。吉瀬流教育で学生たちの可能性を広げてほしいと思います。10月はスポーツ月間です。スポーツ界ではゴルフ、水泳などで若手女子の世界での活躍が目覚ましく、当校でも初任科女子学生の訓練状況を、NHK静岡放送局、静岡朝日テレビ、トコちゃんねる静岡で取材いただきました。彼女達の今後の活躍を期待し、放送を観たひとりでも多くの女性の方が消防へ興味を持っていただけたら有り難く思います。

4年前、当時ヤマハ発動機ジュビロ監督の清宫克幸さんが中学生以降の女子ラグビーの受け皿を危惧され、アザレア・スポーツクラブを創設し、7人制の女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」が誕生しました。先日ウクライナからナタリヤ選手も加わり、国内最高峰ウイメンズセブンズシリーズ参加に向けたチャレンジが始まります。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX 054-369-1197 E-mail fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

